

[2016年8月24日にテラデータ・コーポレーションより発表されたプレスリリースの抄訳です]

2016年9月8日  
日本テラデータ株式会社

## **IoTプロジェクトのスピードと価値実現を加速する「Teradata AoTAs」を提供 実証済み IP をベースにした IoT アナリティクスにより高い ROI を実現**

テラデータ・コーポレーション (NYSE: TDC、以下テラデータ) は、IoT (Internet of Things : モノのインターネット) データを実用的な洞察 (インサイト) に素早く転換する分析ソリューション「Teradata Analytics of Things Accelerators」(「Teradata AoTAs」) を発表しました。4つの強力なアクセラレーターで構成する「AoTAs」は、IoTに取り組む極めてイノベティブかつ世界的な大企業との実践を通じて開発したもので、その業種は、製造、運輸、鉱業、エネルギー、公益事業と多岐にわたります。このアクセラレーターは、テクノロジーに依存しない知的財産 (IP) で構成され、プロフェッショナル・サービスと、導入コストとリスク低減を可能とする実証済みのアプローチを含みます。これにより、価値実現までの時間が短縮され、初期投資を大きく上回るリターンの実現が可能になります。

「Teradata AoTAs」は、企業が特定のビジネス課題の解決に最適な分析手法やその組み合わせについて、どのセンサー・データを信頼し、保存するべきかを判断する際に有効です。このアクセラレーターは、企業がコストのかかる実験的なプロジェクトから、数千ものデバイスや膨大な設備を扱えるほどに拡張できるエンタープライズ規模のソリューションへと移行し、継続的にビジネス上の効果を得られるよう支援します。

### **「Teradata AoTAs」を構成するアクセラレーター**

- 1) コンディション・ベースの保守: 設備を遠隔地からセンサーデバイス等を通して監視・分析し続けることで、可用性と安全性を向上させ、コストを削減します。
- 2) 製造効率の最適化: 装置の性能や可用性に関わる製造上・生産過程の複雑な問題を明確化し、迅速な修繕措置が可能になります。
- 3) 収集センサー・データの選定: 関連性のある異常パターンに基づいて、センサー測定の最適頻度を自動推奨します。
- 4) 異常状況の探索と視覚化: 大量の多次元時系列 (MTS: Multidimensional Time Series) デ

ータを遠隔監視装置やデバイスから探索し、深刻な故障につながるような異常パターンを事前に発見できるよう視覚的に支援します。

「Teradata Analytics of Things Accelerators」は提供開始済みです。

以上

本プレスリリースの原文は [Teradata News Room](http://www.teradata.com/newsroom) をご参照ください。

###

◆ Teradata Corporation について

テラデータ・コーポレーションは、顧客企業がデータ活用から、競合他社よりもより多くの価値を引き出すことを支援しています。テラデータのビッグデータ分析ソリューションや各種サービスの先進的なポートフォリオは、顧客企業にデータ活用から持続可能な競合優位性を提供します。

<http://www.teradata.com/>

◆ 日本テラデータについて

日本テラデータ株式会社は、テラデータ・コーポレーションの日本法人です。統合データウェアハウス、ビッグデータ分析ソリューションおよびこれらの活動を支援するコンサルティング、構築支援、教育、メンテナンスサポートなど各種サービスを提供しています。

\* Teradata は、米国テラデータ・コーポレーションの米国およびその他各国における商標または登録商標です。

###